

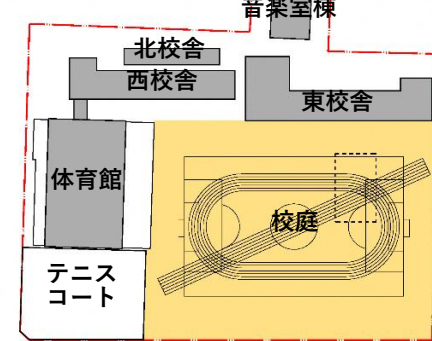
武蔵野市立第一中学校配置計画案

配置計画案検討の視点

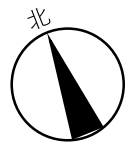
- 1 仮設校舎の有無
仮設校舎は、費用と工期、引越しの手間や工事中の生徒の教育環境への影響があります。
- 2 校庭の環境
配置案により、校庭の広さや校庭への日影の影響が変わります。
- 3 周辺環境への影響 → 近隣住民アンケートを実施
建物の配置が既存から変わることにより、周辺への日影や砂埃、騒音、圧迫感などの影響が新たに発生する可能性があります。
- 4 工事期間
配置案によって、工事の手順や工事期間の長さが変わります。

想定建物高さ
 新校舎 地上4階（17m）／部分的に3階以下となることもあります。
 新体育館 地上1階（14m）

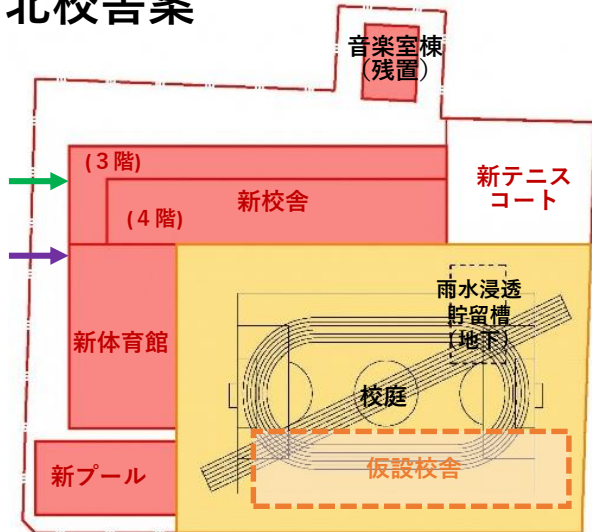
既存配置



令和2年8月31日
 武蔵野市立第一中学校
 改築懇談会（第3回）
 資料5



北校舎案



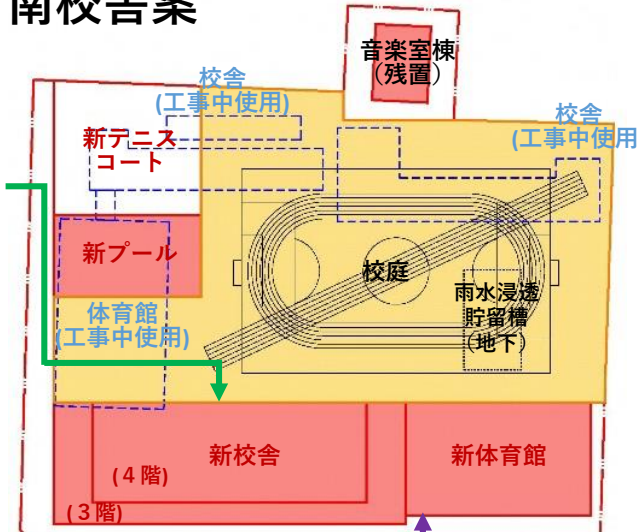
■ 計画建物 ■ 仮設建物 ■ 解体建物
 → 生徒動線 → 地域開放動線

■ プランの特徴

既存の配置に最も近いプランであるが、日影規制により、建物の位置が既存よりも南により、建物北側が階段状になる。既存の正門からアプローチできる。工事期間中は体育館が使用できなくなるため、近隣の施設を利用する必要がある。

仮設校舎	あり（体育館はなし）
アプローチ	既存と同じ
ゾーニング	プールと体育館が一体 音楽室棟と校舎が近い
校庭	既存よりやや狭くなる
教室採光	北・南
雨水浸透貯留槽	既存を利用できる
周辺への影響	現在とほぼ同じ

南校舎案



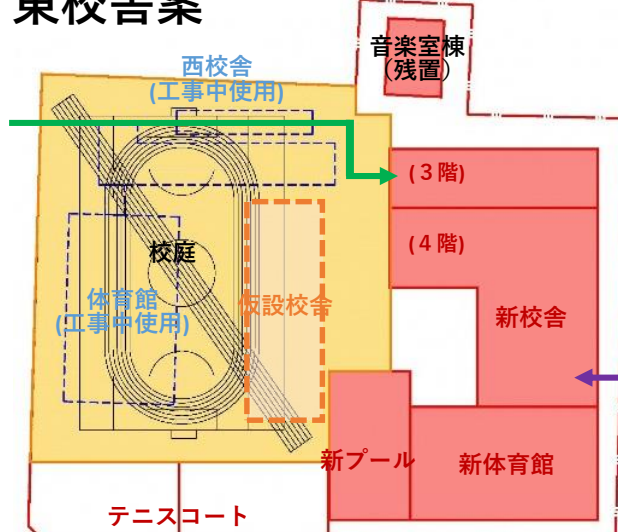
■ 計画建物 ■ 仮設建物 ■ 解体建物
 → 生徒動線 → 地域開放動線

■ プランの特徴

既存の校舎、体育館を利用しながら、南側に新校舎を配置するプラン。広い校庭を確保できるが、校舎の影がおちる。生徒と開放用のアプローチを分けられるが、既存の正門からは、校舎までの距離がやや長くなり、設計時にアプローチを工夫する。南側へ圧迫感などの影響が懸念される。

仮設校舎	なし
アプローチ	既存正門からは少し遠くなる
ゾーニング	プールと体育館が離れる 音楽室棟と校舎が離れる
校庭	既存よりやや広くなる、影
教室採光	北・南
雨水浸透貯留槽	既存を利用できる
周辺への影響	南側への圧迫感・視線

東校舎案



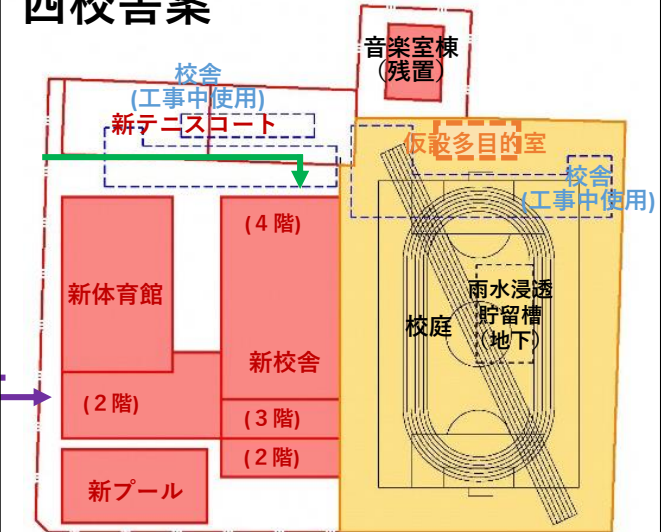
■ 計画建物 ■ 仮設建物 ■ 解体建物
 → 生徒動線 → 地域開放動線

■ プランの特徴

既存の校舎の一部と体育館を利用しながら、東側に新校舎を配置するプラン。午前中、校庭に校舎の影がおちる。生徒と開放用のアプローチを分けられるが、既存の正門からは、校舎までの距離が長くなり、設計時にアプローチを工夫する。東側へ日影、圧迫感などの影響が懸念される。

仮設校舎	あり（一部）
アプローチ	既存正門からは遠くなる
ゾーニング	プールと体育館が一体 音楽室棟と校舎が近い
校庭	既存よりやや狭くなる、午前中影
教室採光	北・東・西
雨水浸透貯留槽	再整備が必要
周辺への影響	東側への日影・圧迫感

西校舎案



■ 計画建物 ■ 仮設建物 ■ 解体建物
 → 生徒動線 → 地域開放動線

■ プランの特徴

既存の校舎を利用しながら、西側に新校舎を配置するプラン。工事中体育館は使用できないが、北東にプレハブの多目的室を設置可能。夕方、校庭に校舎の影がおちる。生徒と開放用のアプローチを分けられ、生徒は既存の正門からアプローチ。西側へ多少の日影などの影響が懸念される。

仮設校舎	なし（体育館代替多目的室設置）
アプローチ	既存正門からアプローチ
ゾーニング	プールと体育館を一体整備 音楽室棟と校舎がやや離れる
校庭	既存よりやや狭くなるが、中庭がとれる、夕方に影
教室採光	東・西
雨水浸透貯留槽	既存を利用できる
周辺への影響	西側へ多少の日影

※新校舎と新体育館のおおむねの配置を検討する資料です。令和3年度に着手する基本設計の中で、新プールや新テニスコートなどの付属施設の配置や新校舎・新体育館の形状の変更、新校舎・新体育館の位置の調整が発生する場合があります。